

UDCTak

アーバンデザインセンター高島平

News

UDCTakは設立以来、大学と連携して、これからのまちづくりに向けた様々なプロジェクトを実施してきました。高齢化に伴う生活不便への対応（買い物支援プロジェクト）、災害への意識啓発と防災力向上（防災ゲームプロジェクト）、今あらためて未来に引き継ぐ高島平の資源発掘（ヘリテージプロジェクト）、高齢者等の居場所づくり（花壇づくりプロジェクト）などです。本号では、これからの高島平のまちづくりに向けた新たな視点・アプローチを生み出す、これら大学連携プロジェクトを紹介します。

買い物支援プロジェクト 地区ごとの買い物行動の実態・課題がわかってきました

連携協力：東京大学 住宅・都市解析研究室／中央大学 関口達也助教／株式会社ミツバ／ブルーチップ株式会社

高島平地域では高齢化に伴い、日常の買い物が困難な方々が増加しています。この問題に対して、住民の方々の買い物の実態や、地域内の店舗分布・利用状況などについて調査を行うことで課題を明らかにし、解決策を提案することを目指しています。

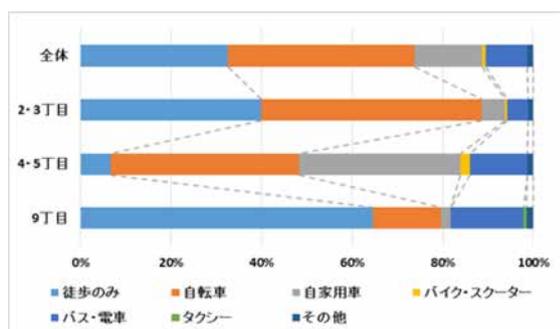
2017年度は移動スーパー「とくし丸」の利用実態調査を行い、地区ごとに購入品目・購入量に差異があることが明らかになりました。またドライバーへのヒアリングを通じ、高齢単身者の方をはじめ、高島平地域全体で約40名の利用者がいること、利用者の中には、日常の移動に不便を感じている人が多くいることがわかりました。

2018年度は(株)ミツバと連携して「高島平地域のライフスタイル調査」を実施しました。四、五丁目の戸建て、二、三、九丁目の一部の建物を選び全戸配布を行い、最終的に950件の回答が得られました。これらの調査を通じて、以下のようなことが明らかになりました。結果は、UDCTakのホームページでも一部公開しています。

- ・高島平地域全体では徒歩・自転車で買い物に行く割合が高いなか、四、五丁目では自家用車利用も多くみられること
- ・高島平地域全体では、高島平駅前に隣接して立地する2つのスーパーの利用者が特に多く、アクセス性や品ぞろえについても満足度が高いこと
- ・食料品の入手に不自由があると感じている方の割合は、二、三丁目では5%、四、五丁目では31%と、地区ごとに大きな差があること

課題解決に向けた一つの方法として、新しい移動手段の導入が考えられます。2018年10月には、(株)ミツバで開発中のパーソナルモビリティの試乗会を高島平緑地で開催し、車体のデザインやサイズ、管理面など貴重な声が寄せられました。

今年度は、四、五丁目にお住まいの方々を対象に意見交換会を実施する予定です。今後も、関係企業とも連携しながら、課題解決に向けた取り組みを進める予定です。



地区別にみた買い物の際の移動手段



移動手段別にみた各店舗の利用者の分布

防災ゲームプロジェクト 高島平発の防災ゲームが完成しました

連携協力：大東文化大学 環境創造学部・社会学部 飯塚裕介研究室

本プロジェクトは、防災ゲームによって災害時の状況を疑似的に体験する経験を通じて、住民の方々の防災意識や関心を高めることを目的としています。

2017年度は地域サーベイ（実地踏査）を元に高島平版防災ゲーム「ご近所さん安否確認ゲーム」を作成しました。本ゲームは大災害時の中高層集合住宅を舞台に、3~4人のプレイヤーが協力して安否確認をしていく協力型ボードゲームです。各プレイヤーはサイコロを振って出た目の数だけ移動や安否確認といったアクションを行います。所定のターン数内に安否不明の部屋をなくすことができればゲームクリアとなります。

2018年度は、高島平グリーンテラスや、体験会イベントを開催して住民のみなさんにゲームをご体験いただき、感想や変更点などのフィードバックを得ると共に、ゲームのデザインやルールの改良を進めました。新聞二紙にゲーム開発に至る経緯やゲーム内容が紹介されるなど、メディアからも注目されています。

今年度は、さらにゲームの改良を進め、改良版の「ご近所さん安否確認ゲーム」を50セット製作します。地域の学校や町会・自治会等で広く体験していただき、防災意識の向上から実際の防災活動へとつないでいくべく活動を進める予定です。

地元からの依頼に応じた体験会の開催やゲームの貸出しも今後行う予定ですので、ご興味のある方や町会・自治会、その他の団体の方々も、是非UDCTakにお問い合わせください。



【ゲームの概要】

本ゲームは大災害時の中高層集合住宅を舞台に、3~4人のプレイヤーが協力して安否確認をしていく協力型ボードゲームです。各プレイヤーはサイコロを振って出た目の数だけ移動や安否確認といったアクションを行います。所定のターン数内に安否不明の部屋をなくすことができればゲームクリアとなります。

なお、各プレイヤーはゲーム開始時に消防団員、成人、中高生、高齢者のいずれかを割り当てられ、それぞれ12面、10面、8面、6面と異なる面数のサイコロを使用します。また、3ターン目と7ターン目はじめに「余震」が起こり安否確認不明者やけが人が発生します。そのため、プレイヤー同士が連携してすばやく効率的に安否確認を行うことがゲームクリアの鍵となります。

ご近所さん安否確認ゲーム ver.2



体験会の様子（2018/5 高島平グリーンテラス 右：2019/2 一丁目集会所）

高島平ヘリテージプロジェクト 未来に引き継ぐ50のヘリテージをとりまとめました

連携協力：東京大学 都市デザイン研究室／高島平観光協会（仮）／地域有志

高島平地域が形成されてきた歴史的な文脈や、まちづくりの中で実現されている空間や施設、蓄積されてきた活動は、これからの高島平のまちづくりにおいても重要です。

本プロジェクトでは、①高島平の歴史的な文脈を、民・学・公連携のもとでの掘り起こしを通じて、住民、市民の方々の自分たちの地域環境に対する関心、愛着を喚起・醸成すること、②高島平の歴史的な文脈に関わる史料を広く収集し、これからの高島平の再生まちづくりの基礎情報として、デジタルアーカイブ等の共有可能なかたちでの整理、公開を図ること、③高島平の再生にあたって、継承すべき地域の歴史的な文脈を明らかにし、行政の計画策定への関与やボトムアップの活動を通じて、その文脈の保全や活用にご寄与することを目的として、資料の収集や聞き取りによって調査を進めてきました。

2019年3月に高島平の地名がついて50年を迎えるにあたり、昨年度はこの成果を「高島平ヘリテージ50」としてとりまとめました。その成果は、板橋区役所一階ギャラリーモールで長期展示するとともに（1/21~3/1）、50周年記念イベントにあわせて高島平区民館で展示や講演を行いました（3/2~3/3）。会場には多くの方々に来場いただき、多くの反響もいただきました。

今年度は、これらの成果を冊子等の形でとりまとめ、手に取りやすい形で発信することで、高島平のまちへの関心をより広く喚起していきます。

本年7月には高島平ヘリテージをテーマとした街歩きのイベント「未来を考える街歩き」を開催しました。このときの経験や意見を踏まえ、今秋、多くの方々にご参加いただける「高島平ヘリテージまち歩き」を開催する予定です。



高島平の50年 ヘリテージマップ



ヘリテージの解説パネル



50周年記念イベントでの展示（2019/3 区民館ホール）



未来を考える街歩き（2019/7）

花壇づくりプロジェクト コミュニティの場づくりを目指しています

連携協力：筑波大学 藤井さやか研究室

本プロジェクトでは、花壇活動を通じた「居場所」づくりとネットワーク形成をテーマとして、花育てによる景観づくりと交流を通じたウェルフェアの実現を目指しています。

プロジェクトとしては、UR団地内にある共同花壇での花壇活動を支援するとともに、周知を通じた活動担い手の発掘・拡大とコミュニティの醸成を図ってきています。専門家によるワークショップを行い、継続的かつ自立的な花壇活動に向けた人材・スキルの育成や、参加者の拡大と活動の普及を目指しています。UR団地内の共同花壇での実践では、コアメンバーが育ち、自立した活動が芽生えつつあります。特に花の好きな高齢女性にとっては、共同花壇がコミュニケーションや居場所的な空間となっていることが確認できました。一方で、活動の自立・継続に向けては、花や緑の専門家とともに、連絡調整などを支えるコーディネーターが重要な役割を果たすことがわかっており、その確保が課題となっています。

また2018年度には、三丁目の分譲団地を対象として、屋外空間の利用実態調査を行いました。広場空間で子どもの遊びが多くみられたほか、大人及び高齢者の通過が多い実態も明らかになりました。

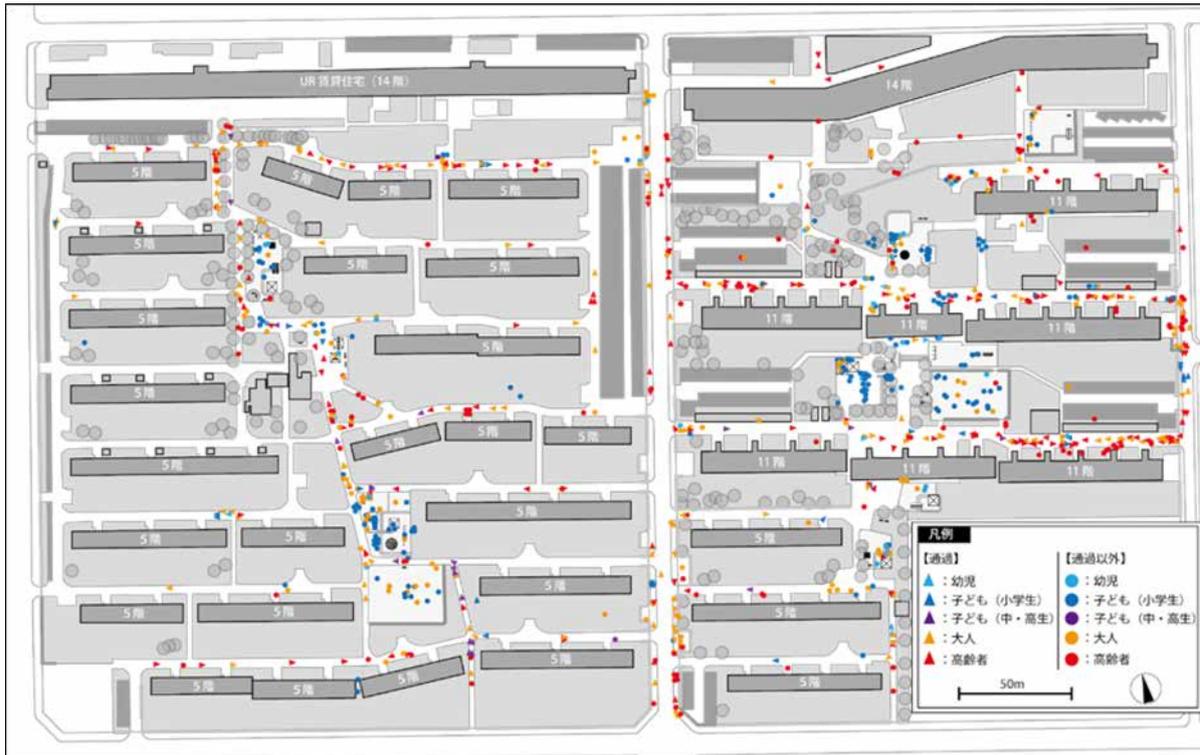
団地内の豊かなオープンスペースは高島平の貴重な空間資源ですが、その管理や利用については課題もあります。今年度は二丁目の屋外空間の利用実態調査を行うほか、他地区との比較によって、これからの団地内屋外空間のあり方について検討を進めています。



共同花壇の様子



ワークショップの様子



高島平三丁目内の屋外空間利用実態（2018/11/7（水）と11/11（日）に行った現地巡回調査結果）

問い合わせ先 ▶ UDCTak事務局

〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
都市整備部 高島平ランドデザイン担当課
電話番号：03-3579-2183 FAX 番号：03-3579-5437
Eメール：info@udctak.jp

UDCTak

アーバンデザインセンター高島平

facebook ▶ facebook で最新情報を発信しています。
「UDCTak」で検索し、いいね! をクリック!

Homepage ▶ <https://udctak.jp/>

